

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度のまとめ

令和5年度は、指定管理者として指名された名取市市民活動支援センター(以下なとセンという)の管理運営を中心に業務を進めた。平成27年度から受託し、平成29年度から指定管理者として行っているなとセンの管理運営業務は、改めて令和2年度から令和6年度まで5年間の指定管理者として当法人が指名され、「指定管理者」としての契約を締結し、4年目のなとセンの管理運営を継続することができた。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが令和5年5月から第5類に移行されたことから、感染拡大防止対策を縮小した。また、平成29年度から行っていたイオンモール名取への協力事業であるイオンホール・あおばひろばの活用の取り組みは令和4年2月で終了しているが、令和5年はフォーラムを行った。

事務局業務を担っている“なとセンわくわくフェスタ”は11月26日に月愛島公民館を借り切って実施した。

12月に尚絅学院大学の藤本教授のご協力により現代社会演習という科目で行動指針を用いた演習を実施した。

法人のHPでもにわくわくフェスタのこれまでの様子や、協賛・協力企業の紹介、実行委員会の団体の紹介を公開した。

6月と2月にJR名取駅自由通路で市民活動のパネル展示を行った。

フォーラムの告知をイオンモール名取のけやきコート2階で行った。

令和4年11月に6名体制になったスタッフは、令和5年度は通年で6名体制を維持することができた。

I 事業に関する事項

1. 情報収集及び提供事業

(1) インターネットを活用した情報発信

パートナーシップなとりの認知度向上及び市民活動団体の情報を発信するため、平成26年3月に立ち上げたホームページを今年度も適宜更新し講座や交流会等の案内及び報告を行った。

(2) 名取の市民活動情報冊子のWEB上での更新

「名取で輝く市民活動団体一覧」を平成30年8月からWEB上で公開している内容に関して、最新情報をネット上で閲覧できるようにするために、新規登録団体の追加や登録事項の変更に対応し適切運営した。

さらに令和6年2月に改訂版を発行したため、WEB上の情報も更新した。

(3) 市民活動活性化事業

なとセン及び市民活動の周知促進と活性化を図り、市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、春まつりと秋まつりに出展した。

(2-(3))関連

2. 多様な団体との交流・連携の促進事業

(1) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の開催。

(2) イオンモール名取「ハピネスモール」への協力

令和5年度も、なとセンの事業として実施していたイオンモール名取との各種連携事業(イオ

ンモールあおばひろば利活用)は、イオンモールの体制が変更されたことに伴い、行わなかった。(5-(1)11)参照)

(3) などセンのPRと市民活動の啓発

名取市で主催する春まつりと秋まつりには出展し、市民活動の啓発を行った。

(4) 名取市市民活動支援センターへの事業協力、共催事業の実施。

業務としては受託業務の範囲ではあるが、当法人の活動として他法人との調整などを行った。

- ① 専門相談会への協力：専門相談会は14回企画したもののうち8回実施され、相談員の推薦等多様な相談に対応した。
- ② 市民活動講座への協力：7月から3月にかけて行った4つの市民活動講座(8回実施)の実施にあたり、当法人代表や外部講師等を紹介した。
- ③ 情報交換会への参加：5月から12月にかけて8回行った夜会「ヨルニカタル」や12月14日の協働提案事業について、2月に行った「第8回市民活動団体と企業の情報交換会」の3つの情報交換会を行った。企業との情報交換会では名取を元気にする作戦会議としてワークショップを行った。
- ④ 市民活動フォーラムへの参加
10月3日に「好きな名取と生きていく～名取市の市民活動とSDGs～」をテーマにイオンモール名取を会場に実施されたフォーラムに参加した。(5-(1)-7)参照)

(5) 市民参加による市民活動行動指針活用事業

平成29年度に名取市との共催として採択された市民協働提案事業「市民参加による市民活動行動指針策定事業」を活用し、尚絅学院大学との連携事業とし12月4日と11日に現代社会演習の中の藤本教授の担当授業で名取市の市民活動の現状や市民活動団体のメンバーによる経験談を話すとともに、学生同士のワークショップへのアドバイスなどを行った。

3.市民活動団体等に対する支援事業

(1) 市民活動講座に実施

令和5年度は自主事業としての市民活動講座を行わなかった。

(2) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の実施

平成27年以来9回目となる、などセンわくわくフェスタは会場を愛島公民館に移し、公民館のご協力を得て、展示ブース、発表、販売、ワークショップを行った。当法人は大判焼きを提供した。また、過去のわくわくフェスタの様子を写した写真や実行委員会参加団体、並びに協賛・協力企業の紹介ページなどの特設HPを作成し、公開している。

(3) などセンコピーサービス事業

令和3年から当法人で行うこととなった、などセンに設置してある印刷機・コピー機のサービスを継続した。

4.調査研究および資料等の発行事業

今期は尚絅学院大学との共同研究を行うことはできなかった。

5.などセン管理運営業務

(1) 令和5年度名取市市民活動支援センター管理運営業務の指定管理者としての実施

名取市と令和2年2月1日に締結した令和2年度名取市市民活動支援センター管理運営に関する基本協定書第9条に基づき、令和4年3月に指定管理者として締結した年度協定書「令和4年度名取市市民活動支援センターの管理運営に関する年度協定書」に基づき、名取市市民活動支援センターの管理運営を指定管理者として実施した。実施した管理運営業務は以下のとおりである。

① 名取市市民活動支援センターの管理

貸室、貸事務室、コピー機・印刷機、その他の管理を行った。

② 市民活動支援センターの運営

1) 市民活動への情報提供

・情報収集と情報掲示を行った。

・名取駅東西通路において市民活動団体紹介パネル展をなとセンの事業として 6/1 から 6/30 まで行った。

・なとセン HP で Web 版の市民活動展を実施した

2) なとセンだよりの作成

・なとセンだよりを 49 号から 54 号まで発行した。

3) 相談業務

窓口では 7 件の相談を受けた

4) 市民活動団体向けの専門相談会開催

専門相談会を 14 回企画し 8 回開催。11 名に対応。相談内容は設立運営、IT 関係など多岐にわたった。NPO 法人や一般社団法人の代表者などの専門的な知識と経験のある方々に相談員を依頼し、多様な相談に対応した。

5) 名取市市民活動支援センター市民活動講座の実施

「広報力アップ講座」(動画制作)を勉強会方式で 7 月 28 日～9 月 29 日に 1 講座 5 回、外部講師を招き、「救命講習会」を 10 月 16 日、「クラウドファンディング初心者講座」を 1 月 28 日、「広告作りで気を付けたい著作権講座」を 3 月 21 日に 3 講座 3 回、計 4 講座を開催した。

6) 情報交換会の開催

「～市民活動情報交換会～」として、5 月 27 日～12 月 28 日に 8 回のなとセン夜会「ヨルニカタル」を実施した。12 月 14 日には協働提案事業について、2 月 28 日には企業との情報交換会を行った。年間では計 10 回の情報交換会を実施したことになる。2 月に行った「第 8 回市民活動団体と企業の情報交換会」では名取を元気にするための作戦会議と銘打って対面でのワークショップを実施し、様々な方策が提案された。市民活動団体 8 団体 9 名、4 企業 6 名と多くの方々に参加して頂いた。参加企業はみやぎ生活協同組合、ニコン仙台、ウエルシア薬局、名取市商工会で、今後もこのような情報交換会を行っていくことを確認した。

7) 市民活動フォーラムの開催

フォーラム会場としてイオンモール名取開催の課題は、これまでの傾向は関係者が参加するだけで来店者が足を止めることがまだまだ少ない。そこで、社会貢献活動(市民活動・NPO)などに触れる機会の少ない市民に興味を持ってもらう為に、中学校の教科書にも掲載されている SDGs のロゴに解説を付けて掲示し学びの機会を提供。また、市民活動についてのアンケートに回答した方々には、くじ引きも実施し名取市内の市民活動団体活動紹介パネル使って PR する。市民活動に関心を持ってもらうために来店客の視界に入るよう 150 cm×300 cmの花柄横断幕に NPO 文字を白抜きにデザインし花紙(緑色)で文字を埋めてもらう参加型とし来店者 100 弱が参加した。

【フォーラム概要】

表 題 第 9 回市民活動フォーラム 「好きな名取と生きていく」

副 題 ～名取市の市民活動と SDGs～

開催日時 10 月 3 日(火) 10:00～17:00

会 場 イオンモール名取 1 階けやきコート

【プログラム】

■開 始 10:00

■けやきコート:

- ・市民活動アンケート実施 回答者へBOXティッシュプレゼント
- ・アンケート回答者に花紙でNPOの文字を埋めてもらう参加型
- ・市民活動団体(リバイブ名取21)によるピカボード作成体験コーナー
- ・市民活動団体紹介コーナー(団体イベントチラシ、パンフレット、PC1台)
- ・SDGsロゴダイス重ねたオブジェ2か所設置

【事前広報等】

日時:令和5年9月20日(水)~10月3日(火)

2階けやきコート西側 ポスター展示(イーゼル8本・机1台使用)

8:30 イオン入店 9:00 終了 9:10 センター戻り

【市民活動アンケート実施】

⇒くじ引き(景品付き)テント持ち込み【机2本/椅子2】

- ・アンケート回答者に緑の花紙でNPOの白文字を埋めてもらう参加型【ボード5枚】
- ・市民活動団体によるピカボード作成体験【机2本、イーゼル3本、椅子4】
- ・控室仕切り ボード借用(株)京屋:6枚、イオン借用:【机1本/椅子3脚】

■市民活動一般アンケート

回答数91

- ① 市民活動を知っている 56%
- ② などセンを知っている 41%
- ③ 寄付をしたことがある 35%
- ④ ボランティアをしたことがある 56%

■広報について

- ・なとらじ支援センター枠の一部で告知
- ・などセンだより9月号1ページ目に記事掲載・チラシ同封
- ・広報なとり9月号に掲載

8) 市民活動団体紹介冊子作成事業

令和2年3月に作成した冊子を改訂した。

全62ページ(表紙含む)

登録団体95団体

未登録団体4団体

今回は各団体のQRコードを追加した。

令和6年2月末に納品。

冊子作成にあたり表紙または中面に使用する写真を一般に向けてコンペを実施し、採用者には1万円相当の景品を贈呈した。

9) ホームページ・ブログ・みやぎNPOナビ名取版の運営

適宜更新をした。

10) 団体情報管理

令和5年度の登録は、新規登録4団体登録解除が10団体。結果として登録団体が6団体減少した。

令和6年3月31日現在、107団体で、内訳はNPO法人19団体、任意団体77団体、その他

が 11 団体

11) イオンモール名取との連携事業

イオンホールとあおばひろばを「ハピネスモール」をテーマとする活用については令和 4 年 2 月をもって仲介業務を終了した。引き続き支援センター事業での利用は登録団体活動紹介パネル展のみ継続となっている。

12) 市民活動活性化事業「なとらじレギュラー出演」

市民活動や市民活動支援センターの周知促進と活性化を行うことで市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、実施した。平成 31 年 2 月より毎週月曜日（14：30～14：40）のなとらじレギュラー枠にて団体メンバーまたは、支援センタースタッフが出演し、などセン登録団体の活動紹介やイベント告知などを行った第 1 週は「支援センターの取り組み紹介」、第 2 週「あるある阿留多伎 市民活動よもやま話」、第 3 週「なとらじで市民活動 3 か月連続出演 登録団体」、第 4 週などセンのマスコットキャラクターエヌポによる「ラジオで広がる市民活動 エヌポの部屋」として、出演団体の PR と市民活動の PR を図った。今年度も昨年度に引き続き、電話出演が主体となった。市民活動団体が不得意とする広報（情報発信）の支援として取組んだ FM ラジオへの出演であり、毎週月曜日の放送出演団体が令和 5 年度は 51 団体であった。

13) などセン利用者サービス向上への取り組み

- ・提案箱平成 31 年 2 月から、利用者の声を聴くために 1 階の情報交流室に「提案箱」を置き、自由に投稿できるようにしている。今年度も引き続き設置したが、丁合機の希望 1 件のみであった。現在検討中。

- ・利用者アンケート

平成 31 年 2 月に開始した会議室や印刷機の利用者にアンケート調査を令和 5 年度も行った。

- ・貸室利用者懇談会

令和 5 年 12 月 17 日に貸室利用者の懇談会を行い、3 年経過後の退室・継続時のルールと 1 か月前倒しでの募集方法について説明を行うとともに、名取市市民活動支援センターの管理運営についての意見や要望を聴取していたが。令和 5 年度は、貸事務室利用団体 12 団体中、8 団体が参加し良好な意見交換が行われた。

14) CANVA への登録

画像等のデータを提供しているサイトへ非営利活動団体（市民活動団体）として登録し、様々な画像等のデータをフリーで利用できるようになった。

15) その他

- ・名取市市民活動支援センター定例月次報告会

毎月の定例月次報告会を行い、発注者である名取市担当部局との意思疎通、情報共有を図った。（開催日：4 月 28 日（金）、5 月 31 日（水）、6 月 28 日（水）、7 月 28 日（金）、8 月 28 日（月）、9 月 29 日（金）、10 月 30 日（月）、11 月 30 日（木）、12 月 22 日（金）、1 月 22 日（月）、2 月 26 日（月）、3 月 25 日（月） 合計 12 回

- ・モニタリング

令和 5 年度の管理運営について、令和 6 年 1 月 25 日に名取市のモニタリングの実地調査を受けた。3 月末付で名取市から正式に文書でモニタリング票を作成の依頼を受けた。（提出期限は 5 月）

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ① 令和 5 年度も一部閉館を実施せずに管理運営を行うことができた。

- ・支援センター感染防止対策として 前年度から継続対応

- ・名取市より令和 5 年 3 月 13 日以降、個人の主体的な選択を尊重し、マスク着用は個人の判断に委ねることとなる。

- ・新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」が、令和5年5月8日から「5類感染症」になり法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組をベースとした対応となった。

② 感染防止対策の実施

- ・前年度から継続的に行ってきた宮城県からの注意喚起情報掲出、手指消毒のアルコール設置（別棟を含む）を継続している。
- ・貸室使用後の机、椅子、エアコンスイッチ、ドアノブなどの消毒のほか、定期的に共用部分の消毒を行った。
- ・コロナ感染防止対策として昨年、正面出入り口に設置したサーマルカメラ付き検温・消毒ボードを5月31日まで実施した。

(4) 地震時の対応について

令和5年度は震度4を超える地震は発生しなかった。

(5) 指定緊急避難場所について

令和3年3月5日に締結した「災害時における一時避難施設としての使用に関する覚書」に基づいて、災害時（洪水時のみ）における一時避難施設として、名取市市民活動支援センター災害用倉庫に随時、非常用物品が搬入された。

(6) クーリングシェルターへの対応

5月19日に市民協働課・政策企画課が来館し、R5年度試行で熱中症警戒アラート（R6から熱中症特別警戒情報）発令日のみ、支援センター情報交流室を「クーリングシェルター」として指定することを通知。本格実施は気候変動適応法施行のR6年6月1日より。

- ・6月7日にクーリングシェルター用ポカリスエット1箱（24本）運び込み。防災倉庫保管（2本は冷蔵庫）

II 組織運営に関する事項

1. 理事会の開催

理事会を月1回のペースで合計12回開催し、事業の執行及び組織の運営に当たった。

第104回	4月23日	(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター	会議室	中
第105回	5月12日	(金)	19:00~21:00	市民活動支援センター	会議室	中
第106回	6月28日	(水)	19:00~21:00	市民活動支援センター	会議室	大
第107回	7月26日	(水)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第108回	8月21日	(月)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第109回	9月25日	(月)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第110回	10月23日	(月)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	小
第111回	11月27日	(月)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第112回	12月18日	(月)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第113回	1月24日	(水)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第114回	2月24日	(土)	19:00~21:30	市民活動支援センター	会議室	中
第115回	3月20日	(水)	13:30~15:30	市民活動支援センター	会議室	中

2. 団体の広報

当法人は独自ドメインを取得し、平成 26 年 3 月 23 日にホームページをさくらインターネット(株)のレンタルサーバーを使用してホームページを開設しており、令和 4 年度もそのホームページを維持した。URL は <https://ps-natori.org> である。

3.会員

正会員：個人 11 名
団 体 1 団体
賛助会員：団体 1 団体

4.職員の採用と人事管理

・令和 5 年の退職者は発生せず、新型コロナウイルス感染症に罹患するなどの事態はあったものの令和 4 年 11 月 1 日に採用したスタッフを含め通年で 6 名体制を維持した。

5.職員の研修

職員のスキルアップのため、18 回の講座・講習会等の研修にのべ 29 人を派遣した。

6.事務局通信の発行

「伝書ぱと」第 11 号、第 12 号を発行し、会員に送付した。